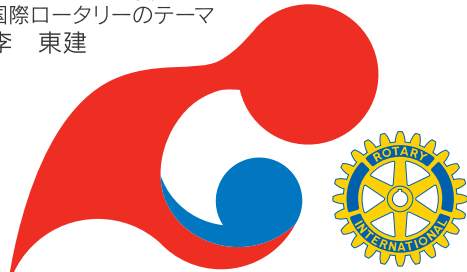


2008～2009年度  
国際ロータリーのテーマ  
李 東建



**Make Dreams Real**  
**夢をかたちに**

会長／齋藤清蔵 幹事／遠藤光一

RI第2510地区

# 留萌ロータリークラブ 会報

2008▶2009 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

## 出席と参加、親睦と奉仕の 意識を高め地域に奉仕

### プログラム

- 本日  
来賓卓話  
北海道議会議員 石塚 正寛様
- 次週予定  
来賓卓話  
留萌支庁長 西田 俊夫様

ご夫人誕生日  
1月27日 中川 豊美

No. 2359

第27回 1月21日

出席報告

前例会

会員総数	43名
出免会員	0名
出免出席	0名
出席会員	43名
出席率	100%

前々会

第24回 12月24日

出席会員	名
メイクアップ	名
修正出席率	%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

### 📝 会長報告 .....

- 留萌青年会議所の新年交例会に参加して参りました。
- 陸上自衛隊留萌駐屯地の新春交例会が10日午後1時より開催、留萌クラブより対馬会長エレクトが出席しました。
- 例会運営委員会より提出された1～2月プログラムに変更が生じ、臨時理事会を開催。  
1月28日のプログラムを留萌支庁長・西田俊夫氏の卓話に、また2月4日の例会プログラムを留萌市長・橋定敏氏の卓話に変更する事を承認いたしました。

### 📁 幹事報告 .....

- 1) ロータリー米山記念奨学会より特別寄付金の領収書を受領しました。

### 📄 3分間情報 .....

会員研修委員会 田中委員  
「ガバナー補佐の役割」

第一グループは5クラブですが、3年ごとにガバナー補佐を選出しなければならない状態が続いております。ガバナー補佐は地区の任命者で、RIの役員ではありません。また毎年任命されるもので1年間の任期を3期まで努めることができるが、それ以上であってはならないし、地区パストガバナーをガバナー補佐に任命しないことを推奨している。任務の主なもの、

- 1) 次期クラブ会長と会い、クラブの目標について協議・助言する。
- 2) ガバナー公式訪問に同行し、クラブ協議会に出席する。
- 3) 望ましくは毎月、最低でも年4回各クラブを定期訪問する。
- 4) クラブの進捗について、常にガバナーに報告する。
- 5) 地区リーダーシップとクラブリーダーシップ・プランを推奨する。
- 6) 地区委員会の選考に関して次期ガバナーに助言する。
- 7) 地区大会・他の地区会合に出席するとともに、これらへの出席を推進する。
- 8) 必要であれば、地区活動や行事にも参加する。
- 9) 招かれた場合、クラブの例会や協議会、行事に参加する。
- 10) 地区チーム研修セミナーに参加する。
- 11) 会長エレクト研修セミナーおよび地区協議会に出席する。

## ニコニコBOX .....

- ・大変厳しい経済状況でございますが、友情と理解を頂き会員皆様のBOX協力をお願いします  
齋藤会長

前 回	492,500円
今 回	2,000円
累 計	<u>494,500円</u>



## プログラム .....

「新年夜間例会」

＝年男大いに語る＝

山本会員

留萌ロータリークラブに入会して2回目の年男です。私自身5回目の年男で、還暦を迎えます。



今年は丑年です。十二支の語源や由来はご存じだと思いますが、辞書を調べますと丑とは、「芽が出かかっているが、曲がって地上に出れない状態」と書いてありました。

また丑年についての解説には次のようになっていました。「丑」に「糸」を付けると「紐(ひも)」という字になります。これは種から紐が出た状況で、「根」の事を意味します。「根は栄養を吸収し、幹に力を与えたり、本体を支える」・「根は土の中であって目には見えませんが、大木に成長させたり、きれいな花を咲かせたりして、支えてくれる」との意味合いが書かれていました。根はとても大切です。そして根が育つには風、水、太陽がなければ幹も育ちません。周囲の人への感謝を気づかされます。水を与えすぎると腐ってしまう。自分に置き換えると、甘えすぎでは成長できない事なのでしょう。自己観察を続けながら、周囲に感謝をもって会社でも家庭でも全員が根のように地道な努力で支え合い、そしてお互いに感謝をして、丑のように歩みが遅くても、粘り強く勤勉さを持って着実に進む年にしたいと思います。

対馬会員

今年12月で満60歳になります。

自分では還暦を迎えるという実感はなく、まだ若いと思っています。



丑年生まれのお多くは、堅実でマイペース、そして忍耐強いとされています。しかし、一時は

## WEEKLY REPORT

激情に走る性格も兼ね備えているようです。

ねばり強く、じっくり仕事に取り組む性格の人が多いとのもので、職業では銀行員や経理士などに向いているそうです。また落ち着いて行動するタイプが多く、警察官、警備関係の仕事にも向いているようです。

しかし運勢としては残念ながら財運、金運に乏しいようです。小回りがきかず要領よく立ち回れないからだそうです。

丑年生まれで歴史上最も有名な(偉大)な人は、天神様としての信仰もある菅原道真であり、彼は、丑年、丑の月、丑の日、丑の刻生まれであり、牛の背に乗った姿で描かれている事が多いようです。

牛は世界中で人間の次に多い哺乳類であり、人間との関係は紀元前2万年前からで、洞窟などの壁画に描かれている動物です。8千年位前から家畜として育てられた歴史があります。牛は乳牛あり、食用牛あり、農耕牛ありです。

十二支のうち人間にとって最も有益な干支は牛であります。皆さんも丑年うまれの人を大切にしてください。



### 年を取るのは良いことだ

リチャード・アーマー

年を取ると色々良いことがある。年を取って自分の周囲に同年配の人々が少なくなり「君はまだ若すぎて、あのことは知らないだろう」とか、「それはまだ君の年代より前のことだよ」あるいは「私が君位の頃は…」などと言えるのは大変気持ちのよいものだ。私も60代の初めの頃の人を含めて、若い人々をうまく下風に置く楽しみを今知り始めたところである。

ある晩餐会の席で、古代史そして中世史に係り会った人物について一席ぶち、並いる面々を煙に巻いたことがある。もちろん初めにあたりを見まわして、私ほどの年寄りがないことを確かめたうえでのことである。だが、この頃はそんな気遣いも段々無用になりつつある。これと同じ席上、私は話題を変えて、歴代米国大統領についてしゃべった。「私が最初に握手した大統領はウォーレン・G・ハーディングだった」と切り出し、そのいきさつを詳しく話してやったが、この話のポイントは「初めて私が握手した大統領」という件りである。こうしておく、いかにも私が多数の大統領と握手したことがあるかのように響くからである。

軍隊には所謂“格上げ”というものがある。そこで私はなにかこう“年齢による格付”みたいなものを提案したい。60歳以上は少佐、70歳以上は大佐、80歳以上は代将あるいは少将、90歳以上は大將、100歳以上は元帥といったような具合にしたらどうだろうか。100歳以上の人は絶対に元帥にすべきだ。元帥級の老人の数はそう多くはない。だからこの人々の発言は必ずニュースになる。100歳まで生き延びれば新聞やテレビなどからインタビューを受け、写真を撮られることはまず確実だ。

「一世紀も生きてこられたのはなんのおかげだと思いますか」と記者が聞く。「タバコや酒そして女を断っているためじゃ」と100歳の老人が答える。別の老人は「安葉巻と安酒を飲んでいるからじゃ」と答え「女性はどうですか」との追い討ちにはウインクして横目でにらむかもしれない。「長生きしようなんて考えないことが100年も生きる秘訣じゃ」と答える老人も出てくることだろう。

年をとると良い事は他にもある。それは、「忘れる」ということだ。ただし「うまく忘れる」という条件はつくが、憶えていたくないことはみな忘れるとよい。私はこのエクスパートになった。だが時としては以前の嫌なことや嫌な人のことを思い出すこともある。しかしそこが年を取ることの素晴らしい利点といおうか。嫌なことも嫌な人も、その当時ほど嫌ではなくなってくる。逆に可笑しいことにさえ思えてくることもあるのである。約40年前のこと、随分嫌な思いをさせられた憎い男がいた。彼のために無気力になり、みじめな気持ちにさせられていた。だが不思議も不思議、今ではその彼が私の心を楽しませてくれているのである。そして、どうしてあの頃彼をいらいらさせるようなことをしたのか首をかしげる。年と取ると均衡のとれた物の見方、あるいは「その他もろもろ」を達観することができるからである。年を取ると都合のよいことは他にもたくさんある。そして60歳以下の未熟で自意識の強い若い人々が可哀想に思えてくるのである。<筆者は米国のユーモア作家>

(ロータリーの友/1975年) より抜粋